

日本一の読書のまち三郷だより

43

平成25年

9月

三郷市教育委員会

まだ暑い日が続いていますが、朝夕少しずつ秋の気配を感じる頃になりました。さて、今年の中秋の名月は9月19日(木)です。今年は満月と重なります。お月見は収穫に感謝するお祭りなので、収穫物をお月様にお供えするようになったそうです。月見団子もお供えもののひとつです。風雅を大切にしながら、19日には月を眺めてみませんか。また、歳時記の本も楽しいですよ。

9月28日(土)日本一の読書のまち三郷宣言記念講演会開催 柳田邦男講演会 ～「物語を生きる人間」と本の力～



柳田邦男氏は三郷市の読書活動の応援団長をお引き受け頂いています。

9月28日(土)午後1:30～4:00文化会館小ホールにて、日本一の読書のまち宣言記念講演会を開催します。講演者は、ノンフィクション作家柳田邦男氏です。



柳田邦男氏 プロフィール

1936年 栃木県生まれ。NHK記者を経てノンフィクション作家に。1972年「マッハの恐怖」で第3回大宅壮一賞を受賞。1995年「犠牲我が息子・脳死の11日」とノンフィクションの確立への貢献で、第43回菊池寛賞を受賞。最近の著書に『言葉が立ち上がる時』『「気づき」の力』、翻訳絵本に『ヤクーバとライオン』などがあります。

大人が変わらなければ、子どもは変わらない。大人が変われば子どもも変わる。おとなたちよ、自分の意識改革を価値観の転換を決意してほしい。“ケータイ・ネットより、絵本を！”と。「みんな、絵本から」柳田邦男著 講談社 より

司書教諭研修会開催



8月23日(金) 司書教諭研修会が旧保健センターで開催されました。学び方の基礎になる“図鑑の目次・索引”の指導法“百科事典”の使い方指導などを具体的に学び2学期からの学校図書館教育に役立てるために、先生方は熱心に学んでいました。

学校図書館の展示コーナー紹介



北中の学校図書館に「昭和42年度卒業生有志」の皆さんからの寄贈本が展示されています。これは北中学校の前谷口校長先生の退職を記念に、同級生が「日本一の読書のまち」をお祝いして寄贈された本です。気持ちの熱い寄贈本です。

9/19～9/29 午前9時～午後9時 三郷市図書館リサイクル図書フェア開催

会場：ピアラシティ交流センター1階 体験学習室B

今回は市立図書館の建てかえに伴い、例年より多くの冊数を提供いたします。ぜひ、おいで下さい。

夏休みの図書館大賑わいでした(学校図書館は夏休み中10回程度開館)



早稲田図書館では、毎第4土曜日にボランティア「赤とんぼ」が紙芝居を上演。夏休みだからこそこのよりゆったりとした家族一緒のひとときが広がっていました。



前谷小では工作教室を開催。子ども達で大賑わいしていました。学校司書とボランティアの連携で取り組まれていました。



- 夏休み中の図書館でのイベント -

丹後小では、学校司書のお話会を楽しみに集まり、手遊びも夢中になって一緒に取り組んでいました。

第Ⅱ期子ども司書・外部見学や講座受講に取り組む



第Ⅱ期の子ども司書養成講座が夏休みに各学校や市の図書館で行われました。8月22日(木)には、外部見学として、国際子ども図書館と印刷博物館を訪問しました。国際子ども図書館では、明治の重厚な建物や外国の本の展示に感動していました。印刷博物館では、印刷の歴史を学ぶとともにノートを手作りし、印刷製本の手法の一端を学びました。



8月28日には、北部図書館と早稲田図書館で読み聞かせをするための心構えや読み方を習いました。9月21日(土)にららほっとで成果を披露します。

「ららほっとみさど」でおはなし会



8月17日は前間小のボランティア「ブー横丁」が担当。3名の6年生の子どもたちと一緒に読み聞かせを行いました。子ども達が大賑わいでした。中には楽しいと、2回目のお話会にも参加した子どももいました。次回9月21日は子ども司書が担当します。



うちどく推進で家族の絆を培おう！



「りんごあげるね」さえぐさひろこ/作 童心社 後谷小・4年(昨年度)

1冊の本を読んで4年生の娘とお父さんと、天国のおじいちゃんへハガキを書きました。

天国のおじいちゃんへ

おじいちゃん、私がおすすめする本は「りんごあげるね」という本で、このものがたりは、女の子のペットのピピッチと言うセキスイインコが死んでしまい、その後、女の子がおはかを作ったのですが、カラスにほりかえされてしまいます。ある日、そのおはかに行ったら、からすがいたので、石をなげてしまいました。女の子はカラスをかかえながら泣きました。でも、カラスはまだ生きており、女の子が「おいしいよ」と言いながらカラスにりんごをあげたというお話です。私はこの本を読んで主人公の女の子にやさしさがあることが分かったので、私はこんなやさしい心になりたいです。ゆいより 娘：鈴木唯生

命の大切さを知るといことはとても大事なことです。そして、発想の転換で物事を良くとらえるということもとても大事なことです。

今を大事に一緒にがんばっていきましょう。(父：鈴木佳男)